Comf

富士市民活動センター
コミュニティfは、
富士市内の市民活動を
応援するための施設です。

ミーティングルーム

常時は1ブース12名の配置ですが、人数や会議スタイルによって50名ほどまで対応できます。

特別会議室

定員12名の完全個室の会議室です。経営的な会議や、相談業務などにご利用下さい。

交流スペース

ネット閲覧PC3台常設。
自動販売機もありますので、
ちょっとした打合せや休憩にご利用下さい。

大量印刷

片面・両面印刷対応。（※注）印刷は合計10枚以上

	普通紙	厚手マット紙	両面加算
白黒A4	3円	6円	2円
白黒A3	4円	9円	2円
カラーA4	11円	14円	10円
カラーA3	12円	17円	10円

大判

A1判・A2判・横断幕の印刷

A2判	400円
A1判	800円
横断幕（1mあたり）	1000円

無料 裁断機

最大断裁厚約200枚、
断裁奥行：A4長辺まで裁断可能。

無料 織り機

ご希望の折り方に折る機械です。
用紙サイズにより不可ありです。

無料 丁合機

複数の印刷物を頁順に並べ揃える機械です。

その他のサービス

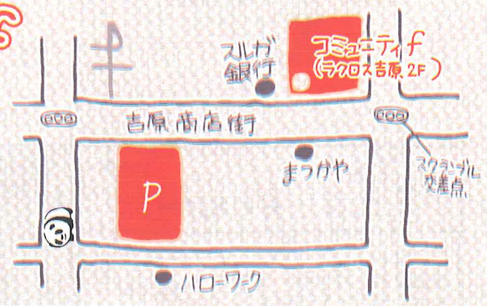
印刷機、大判出力、折り機、丁合機、
交流サロン、メールボックス、ロッカー、
インターネット利用、その他相談等

富士市民活動センター コミュニティf

＊富士市吉原2-10-20　ラクロス吉原　2階

＊開館時間＊　月曜－土曜　10:00～22:00
日曜・祝日　10:00～17:00

＊E-mail＊　info@com-f.net
＊HP＊　http://www.com-f.net



編集後記

★近所の小さな公園には、いつも花がきれいに植えられています。すぐそばの畑のおじさんが、誰に頼まれているわけでもなく、畑仕事の合間に手入れをして下さっているのです。そこへ行けば、お花に囲まれほっこり和みます。今回の特集のテーマ・グラウンドワークって何だろう？と考えた時、ふと、畑のおじさんが思い出されました。自分の地域を大事にする心、ちょっとした行動、ステキです。

富士市民活動センター・コミュニティｆは、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています

編集・発行　富士市民活動センター・コミュニティｆ
静岡県富士市吉原2－10－20　TEL 0545-57-1221　FAX 0545-57-1091　http://www.com-f.net

富士市民活動センター

コミュニティニュースf

2010.09.01 第12号

特集 グラウンドワーク インターンシップ

ワインと料理を楽しむ会

ワンナイト・ワインバー

い・ろ・ん・な・な・か・ま

よしわら夢祭人（ゆめまつりびと）

代表　窪田　優子さん

メールボックス貸出無料

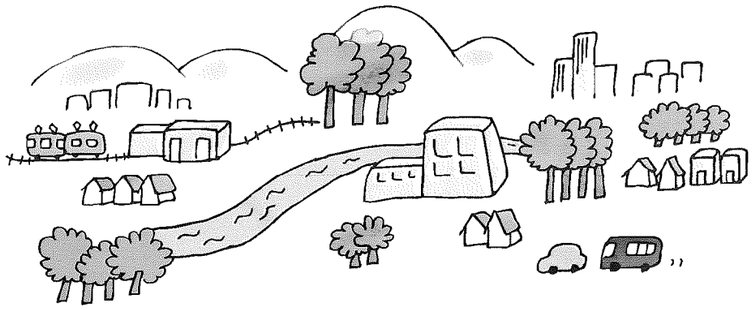
市民活動団体からの催事・お知らせ **掲示版**

そこが知りたい！コラム

Community f Photo Gallery

グラウンドワーク インターンシップ

特集



キャリアアップ 飛躍への挑戦!! 地域を創るために、いざ学びの場へ!

この夏、内閣府の「地域社会雇用創造事業」の一環として**グラウンドワーク・インターンシップ**が開催されています。これは静岡県三島市のNPO法人グラウンドワーク三島が、英国で始まったグラウンドワークを全国に先駆けて導入し、水の都三島を象徴すべく、水辺の環境再生などの環境改善活動を市民・NPO・企業・行政とのパートナーシップによる多彩な環境まちづくり活動を通じて、環境再生、地域再生、農業再生、コミュニティビジネスなどの現場を作り上げてきた実践事業がモデルとなっています。

今回全国で採択された12の事業主体のうち、県内東部ではグラウンドワーク三島に、これからの新しい公共を担うNPO関係者や社会企業家を目指す社会人、未就労者、学生などが全国から集い、現場体験や講習、また各地域の受入れ先のNPOや市民団体の元で環境・まちづくり・農山村振興・中間支援NPOなどの分野に関して、体験学習やグループ演習を約1ヶ月半かけて行います。研修期間中は地域ビジネスやNPOマネジメントなどについて学び、参加者は新たなキャリアアップへの道しるべをつかみます。また、研修後に作成した優秀なビジネスプランには起業支援金が支給され、地域で起業したいという夢を力強くサポートします。

Q.地域社会雇用創造事業とは？

ＮＰＯや社会起業家など「社会的企業」の起業支援及び社会為的企業へのインターンシップをはじめとする研修等を通じ、こうした人材を速やかに発掘・養成し、地域社会における様々な生活関連サービスの事業と雇用を加速的に創造することを目的とし、明日の安心と成長のための緊急経済対策（平成21年12月8日閣議決定）の一環として、内閣府より補助を受けた12の事業実施団体が実施している事業。（内閣府HPより）

【概　要】

グラウンドワーク三島での研修は以下の通り

①「グラウンドワーク・インターンシップ」

平成22・23年度は各1,200名、合計2,400名	
Ⅰ期	平成22年8月～10月（400人）
Ⅱ期	平成22年12月～平成23年２月（800人）
Ⅲ期	平成23年8月～10月（1,200人）

※Ⅰ期の募集人員400名は満員御礼。今後Ⅱ期、Ⅲ期と続きます。テキスト代や旅費や宿泊費の一部研修費用は無料！

②「ビジネスプラン・コンペティション」

平成22・23年度は各50名、合計100名	
Ⅰ期	平成22年11月（15人）
Ⅱ期	平成23年 3月（35人）
Ⅲ期	平成23年11月（50人）

※グラウンドワーク・インターンシップ事業者修了者を対象としたコンペを開催し、ビジネス化の可能性が高く、スタートアップの可能性高いプランなどを選定し、起業支援金を支給します。

【スケジュール】

集合研修 5日間

①初めの5日間でＮＰＯマネジメントや地域ビジネスの成功の秘訣を学びます。参加者同士の交流会はもちろん、グラウンドワークの本場イギリスから講師を招いての講義も行われます。

⇓

実地研修 5日間

②それぞれの地域のＮＰＯや市民活動団体などの受入れ先で、5日間程度の実務研修を行い、自己学習、調査などを通じビジネスプランを作成します。

⇓

フォローアップ 研修 2日間 ※対象者のみ

③活動支援金対象者のみフォローアップ研修に参加し、専門家のアドバイスを受けまとめに入ります。

研修体験レポート

～東海道・吉原宿スタッフ～
角田くんの日誌より

角田 有崇（29）

富士市民活動センターの指定管理者である、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿からも、今回のグラウンドワーク・インターンシップへ研修に参加しています。

実際に行われた研修はどのようなものだったのか？スタッフの角田くんがレポートします。（※以下グラウンドワーク＝ＧＷと明記）

8月2日・研修1日目
実践地視察

ＧＷ三島が今まで手掛けてきた場所を視察。実際に再生・保護した場所を見学し、今回の研修の下地を作り上げました。

8月3日・研修2日目
体験学習

地域再生・農地再生・環境再生の３班に分かれて体験学習を行いました。それぞれの場所でそれぞれの再生ビジネスを肌で感じ、ビジネスの大変さとアイデアを学ぶことが出来ました。

8月4日・研修3日目
英国のＧＷを学ぶ

元英国グラウンドワークの所長 ロビン・ヘンショウ氏が講師として登場。行政・企業・市民によるパートナーシップを確立し、大きな成果を上げ、その後の公共政策にまで影響を与えた本場の活動を学び、これからの日本のＮＰＯのあるべき姿について考えさせられる講座でした。

8月5日・研修4日目
ビジネスシーズ

『 社会的問題 』を取り上げ、
・「誰が課題を抱えているか?」
・「なぜ起きているか？」
・「どのように解決していくか?」
という点をワークシートにまとめ、グループで話し合いをしました。

人と話すことで新しい知識やアイデアが生まれ、自らのスキルアップにつながった１日でした。

8月6日・研修5日目
地域ブロック紹介

各地域のＮＰＯ法人の活動を紹介。どの団体も地域貢献や社会的問題に真剣に取組み、活動をしていることが伺えました。今後の自分のビジネスプランにも取り入れ、地域に貢献できるビジネスを確立させたいと改めて思いました。

～5日間を通して～

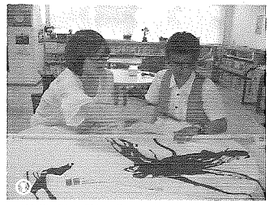
たくさんの人、様々な考えに触れ合い、「社会貢献」と「ビジネス」を学ぶことができた充実した5日間でした。

ただ、若者が少なく少し残念。若者は〈自分も含め〉社会貢献やビジネスチャレンジのためにもっと時間を使ってもよいと思うし、就職難で仕事がないと言っているが、自ら会社を立ち上げ「自分でビジネスを造り上げる」位のパワーがあっても悪くないと思う。そのためにも今回のような研修を利用し、自分の人生の糧としてもらえれば、この暗い世の中でも少しくらい光が見えてくるのではないのかな？と感じるところもありました。

今後このような研修があれば、自分自身の人生の為にも体験すべきだ！と皆に勧めていきたいと思います。充実した時間をありがとうございました。

研修生受入レポート

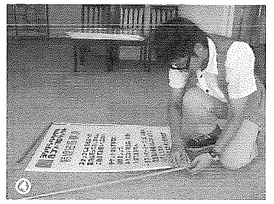
東海道・吉原宿 企画
～YWGPに参加して～



研修期間の説明や、YWGPについての打合せを担当の本間さんから聞く。

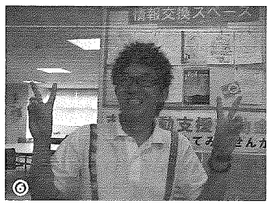
YWGP開催直前会議に参加。まちづくり系イベントのイロハを学びます。

イベントを開催するには裏方の仕事が重要であることを教え込まれます。



当日掲示用のパネルを作成中。地味な作業ですがこれも立派なお仕事。

無事に終了したイベント報告を早速パソコンでまとめます。



研修終了！満面の笑みから、満足に仕事が出来たことが伺えます。

8月16日～21日までの6日間、市民活動センターには三島在住の大学院生の安原君が実地研修にやってきました。

研修期間中に東海道・吉原宿では商店街を会場にした合コンプロジェクト「YWGP」が開催され、まちづくり系のイベントがどのようにして運営されるのか、実際にスタッフの一員となって体験してもらいました。

研修をおえて

今回の研修で得たものは、まちづくりに関して情熱の塊で出来た人達に出会えたことです！！とても勉強になり、刺激になりました。
また、YWGPにも参加させていただき、実際に現場で感じることは多かったです。
吉原宿代表の佐野さんから聞いた『まちは人を育てる装置』の言葉に感銘を受けました。僕も情熱を行動に移して頑張っていきたいと思います。
5日間と短い間でしたがお世話になりました。また、付きっきりで指導して下さった本間さん、ありがとうございました。また遊びに来ます。

安原良太郎

フジパク＆ヨシワラ大学とのコラボで開催！

ワインと料理を楽しむ会
ワンナイト・ワインバー

~7月10日(土)カフェ・プレアーテにて~

カフェ・プレアーテで開かれている食育イベント「ヨシワラ大学」とフジパク(※)とのコラボで「ワインと料理を楽しむ会」が開催されました。フジパクの代表者で、日本ソムリエ協会公認ワインアドバイザーの山崎裕敏さんを講師に迎え、ワインに関する基礎知識をお話していただきました。

日本と世界のワイン事情、ワインと料理の組み合わせ、温度やグラスの知識など、参加者からの質問にお答えいただきながら、おいしく飲むためのアドバイスに皆、耳を傾けていました。

日本でワインが知られるようになったのが明治時代。以来100年もの間ずっと、日本国内では甘口の白ワインが定番となっていましたが、海外旅行人気やここ数年の健康ブームも手伝って、赤ワインの人気が高まっているそう。血中コレステロールを下げる成分・ポリフェノールが多く含まれる飲み物として注目されるようになったそうです。

また、高級なワイン＝おいしいワインとも限らないため、色々飲み比べて、自分のお気に入りのワインを見つけてみるのもお勧めだそう。

赤白各3種類、計6種類のワインを飲み比べ、4種類のチーズと、それぞれのワインに合う料理をいただき、和やかな学びの場となりました。

フジパクとは？

※**フジパク【ふじぱく】**

富士山博覧会の略称。歴史、文化、人…など、輝く地域資源を情報発信するプログラムとして、09年にスタート。月に1度開催される「まちなか探検隊」は、毎回訪問地区を決め、地元の人にガイドを依頼し、地域を見て歩く、「まち歩き」の体験型交流イベントとして、参加者の輪を広げている。

ガールスカウト20団
広島原爆ドーム リボンで包囲

8月1日―核兵器廃絶や平和を広島から世界に訴えようと、被爆者や子どもたちが全国から寄せられた手作り「リボン」約900枚をつなげて原爆ドームをぐるりと取り囲んだ。

富士のガールスカウト20団も平和のリボン（縦50㌢、横1㍍）を制作し広島へ送った。リボンは手作りで、表面には静岡の象徴である富士山が、裏面は平和の「和」がデザインされている。

実はこの富士山、ガールスカウトたちの手形によって描かれている。平和の願いをこめてみんなで丁寧に制作した。

読書が趣味
スタッフ梶野

いままで苦手だった手帳の使い方がわかりました！

この本はコミュｆ資料閲覧スペースにあります。

一冊の手帳で夢は必ずかなう
熊谷正寿. 著

スタッフが気になるほん

コミュｆ資料閲覧スペースには他にもいろいろなジャンルの本を取り揃えております。貸出はしておりませんが館内閲覧自由です。また、ご不要になった本などございましたら、お持ちください。

そこが知りたい！コラム Vol 9

2009年3月にNPO会計基準プロジェクトがスタートし、全国NPO支援センター79団体・会計税務の専門家など24名で検討されてきました。

4月の最終案発表後は、全国31か所で学習会が開催され、パブリックコメントが591件も寄せられたそうです。ついに民間主体・市民参加型で進められてきた策定プロジェクトは7月20日にNPO会計の実務担当者のためのガイドラインとしての「NPO会計基準」を発表しました。

この会計基準ができることで、統一された会計基準に基づく会計報告が可能となり、NPOの活動実態が分かりやすくなり、NPO特有の物の寄付やボランティアの価値を表すことができます。

また、使途が制約された寄付金などを原則注記することで、資金提供者への会計報告が明確になり、企業、行政などがNPOの活動を支援しやすくなるなどの信頼性が高まります。

社会に信頼されるNPOとして活動の継続のためにも「NPO法人会計基準」を活用しましょう！

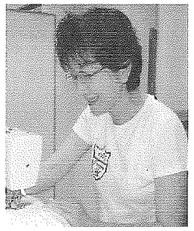
い・ろ・ん・な・な・か・ま

地域で活躍する市民団体を紹介します

現在、公開中の映画の題材にも用いられているよさこい踊り。今回は市内を中心によさこい踊りの活動をしている「よしわら夢祭人」の窪田さんにお話を伺いました。

よしわら夢祭人（ゆめまつりびと）

代表　窪田　優子さん



吉原商店街にて創業80年以上続く老舗茶店「くぼた園」を切り盛りするかたわら、「よしわら夢祭人」では、25名の会員をまとめる代表を務めている。チームをこよなく愛し、吉原だけではなく、多くの人によさこいの楽しさを広めていこうと活躍中。

Q. よしわら夢祭人はどのような経緯で設立されたのですか？

富士市初のよさこいチーム「あっぱれかぐや」さんの練習を見たのがきっかけです。

初代代表の瀧さんが中心となり、平成13年4月に立ち上げました。その年の東海道400年祭でデビューして、今年で10年目を迎えました。

日本舞踊家の泉 裕紀先生にプロデュースして頂き、週1～2回の練習を続けています。毎年、曲も衣装もガラリと変わりますので、まったく飽きることがありません。

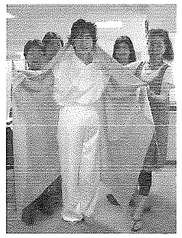
Q. どのような活動をされていますか？

季節ごとの地元のお祭りから「よさこい東海道」、「おだっくいまつり」等の県内外の祭りにも参加しています。

始めた頃は、演舞のチャンスがあまりなかったのですが、近頃では演舞依頼をあちらこちらから頂くようになってきました。そのすべてに参加したいと思うのですが体力がもたないというジレンマもありますね。（笑）

Q. どのような信念で会を運営していますか？

デイケアセンターや授産所に慰問に伺うことがあるのですが、その時に「楽しかった」、「元気になったよ」という声をよくいただきます。自分たちが楽しんで活動していることで、観ていただく方々にも同じように楽しんでもらえるということは、とても嬉しいことです。その言葉がいちばんやりがいになりますね。



衣装作りの様子

Q. 今後のどのような会にしていきたいと考えていますか？

当初よりスローガンに掲げています『まちを明るく元気に、私たちも楽しく元気に』ということを地域の皆さんと共用できるような会でありたいと思っています。

また、ただいまメンバーを募集しております。団体名に〝よしわら〟とありますが、会員は地域や年齢、性別に関係なく参加していますよ。お待ちしております！

あっぱれ富士本祭　（平成22年4月）

掲示板　～市民活動団体からの催事・お知らせ

第三回 ちょっくら東海道バスツアー

今回は「三島宿」の歴史名所を散策します。

■日時：平成22年9月25日（土）
8：50（吉原本宿前に集合）

■参加費：3,500円（バス代・入館料込）
＊昼食代は別。
昼食は①うな重（2,000円）か
②もどき重（1,800円）のどちらかを申込み時に選択してください。

■定員：40名

■問合せ・申込み：
富士市民活動センター等に備え付けの所定の申込書に必要事項を記入し、吉原本宿にて必ず参加費を添えて申し込んでください。(9/17(金)締め切り)

吉原本宿
住所　富士市吉原2-3-21　鯛屋旅館内
TEL　0545（52）0100
営業時間　11：00～16：00（水曜定休）

■主催：タウンマネージメント吉原

ハンドベルコンサート
MAUハンドベルリンガーズ結成10周年

ゲスト　三改木 道男/三改木 多恵子/
Jin Isobe.&KAGE-BOUSHI

■日時：平成22年10月17日（日）
14:00～（13：30開場）

■会場：富士市ロゼシアター　小ホール

■料金：1,000円（自由席）

■問合せ：MAUハンドベルリンガーズ
田中　TEL　0545(51)3035

■申込み：以下の窓口でチケットをお求めください。
富士市ロゼシアター
TEL　0545(60)2500

■後援：富士市教育委員会
富士ニュース社
VIC TOKAIコミュニティーチャンネル
ラジオｆ

音訳ボランティア養成講座

■日程:平成22年10月 6・13・20・27日
11月10・17・24日
12月 1・8日
いずれも水曜日の9:00～12:00

■会場:富士市フィランセ東館3階
ボランティアルーム

■定員:20名＊富士市在住または在勤の方対象
託児あり（申込み時に予約）

■受講料:無料

■申込み:9月24日(金）までに電話かFAX、E-mailでボランティアセンターへ

■問合せ:富士市社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL　0545(64)7100
FAX 0545(64)9040
E-mail　ex-shakyo-vc@city.fuji.shizuoka.jp

■主催:富士市
富士市社会福祉協議会

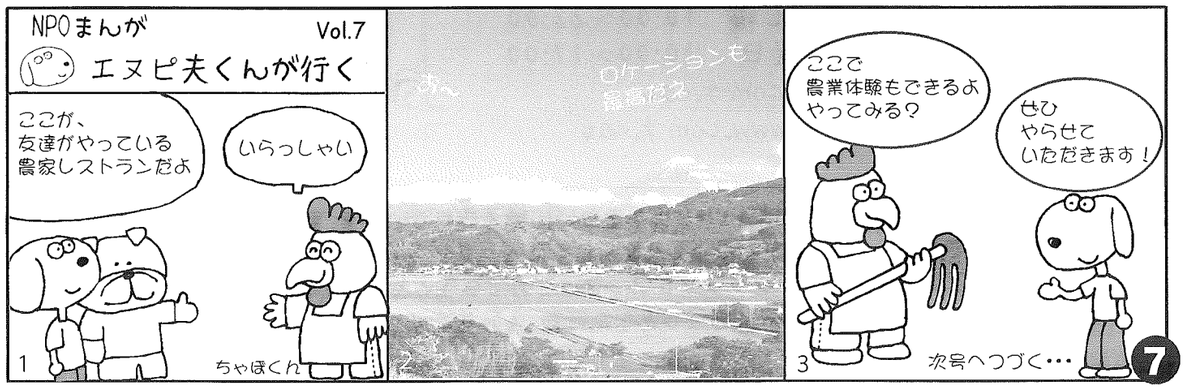
名刺両面大作戦に参加しましょう！

あなたがしているボランティア活動を名刺の裏面に刷り込みましょう。それが『名刺両面大作戦』です。

名刺両面大作戦への参加方法

1.ボランティア・地域活動に参加する。
地域活動やNPO活動、町内の防災活動に参加したり、学校行事のお手伝いでも立派な地域貢献活動です。

2.ビジネスで使っている自分の名刺の裏に、自分の参加しているボランティア・地域活動や応援しているNPO・財団法人の名称を刷る。

名刺両面大作戦のメリット
1.名刺交換相手と会話がふくらみます
2.あなたの「人となり」がビジネスの相手に伝わります
3.あなたの応援したい「社会に役立つ活動」を広げることができます
4.あなたの会社の信用力を高めます
5.「あたたかい地域社会」が実現します

公益財団法人　さわやか福祉財団
名刺両面大作戦のホームページ
http://www.sawayakazaidan.or.jp/meishisakusen/